Pick up!!

連載 研究室への誘い

薬学部 研究室

◆薬品製造学研究室 教授 今川 洋
◆薬品製造学研究室 5年 山口 仁美

●今川教授にお聞きします。研究内容を教えてください。

植物からは、神経細胞に作用してその突起を伸ばす働きのある物質が幾つか発見されています。中でも、本学薬学部の福山愛保教授らによって見いだされたネオビブサニン類と呼ばれる化合物は、アルツハイマー病の新しい根本治療薬を開発する上での鍵化合物になるのではないかと期待されています。私たちは、この自然界からしか得られない化合物を、合成化学の手法により、フラスコの中で人工的に合成することに成功しました。現在は、その作用発現機構を解明すべく、さまざまな類似化合物の合成に取り組んでいます。

●研究内容の特徴を教えてください。

医薬品をはじめとする新しい機能をもった化合物の開発に貢献することです。独自のアプローチや手法を生み出しつつ、これまで世界に存在しない有用な化合物の創製を目標に研究に取り組んでいます。いつの日か、徳島文理大学薬学部で生まれた私たちの研究成果が、病気の治療等を通じて社会に貢献できる日を夢見ています。

●この学問の学びの面白さ、醍醐味を教えてください。

研究活動では、まだ誰も答えを知らない問題を課題に取り組みます。すなわち、教科書や参考書に答えはありません。それだけに、思った通りに計画が進まず、失敗したり苦労したりするのは日常的で、試行錯誤を繰り返す、地道な努力が必要です。けれども、「合成化学」の分野では、これまで誰も手にしたことのない化合物が、目の前のフラスコで、世界で初めて誕生する瞬間に立ち会えます。すなわち、「生み出す人」になれるのです。しかも、実験する学生自身のひらめきや、アイデア、また観察力が問題解決の突破口となることもしばしばです。自分自身で新しいものを生み出す「創製」の感動が、最も直接的に体験できるのが「合成化学」の研究であり、醍醐味であると思います。

●学生たちへメッセージをお願いします。

目的に向かって夢中になることと、失敗にめげない精神力、仕事中の集中力、結果の考察力、文献からの情報収集力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力を身につけてほしいと思います。

また、予期しない事例に出くわした時にでも、科学的根拠に基づいて的確な意見が出せる、研究者マインドを持った薬剤師をめざしてほしいと思います。

●続いて山口さんにお聞きします。現在所属している研究室を選んだきっかけを教えてください。

研究室を選ぶ際に見学したところとても居心地がよく、「面白そう」と思ったからです。この研究室は「実験も遊びも全力」をモットーとしており、全力で研究に励む一方で、研究室行事などの写真にはいつも笑顔の先輩方が写っていました。研究室に所属当初の私には、とても新鮮に感じました。また、世界に通用する研究に、私もその一員として携わることができるという点も非常に魅力的でした。

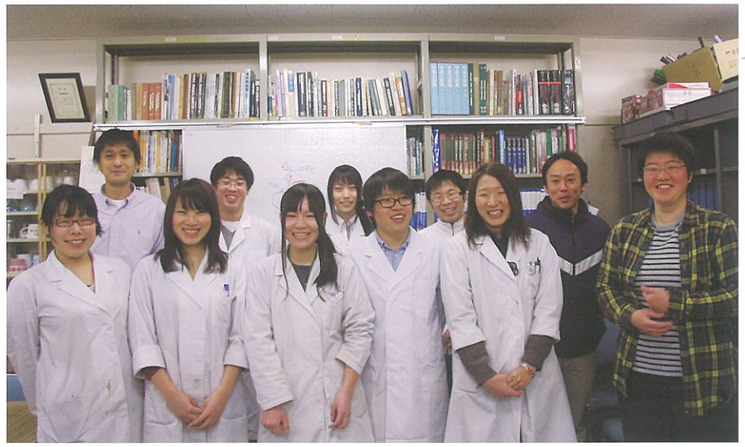
●所属している研究室の魅力はどんなところにありますか?

自分の手で未知の世界を開拓できることです。その分、さまざまな壁もありますが、それを乗り越えた先に新たな発見があり、少しずつでも着実に前に進んでいると実感できることが嬉しいです。また、以前できなかったことができるようになったり、理解できるようになったり、さまざまな人とコミュニケーションをとるたびに考えの幅が広がったりと、自分自身も大きく成長できるところが魅力です。

●これから取り組みたいテーマ、将来の夢を教えてください。

アルツハイマー病の根本治療薬の開発に貢献することが夢です。アルツハイマー病の患者数は、2020年には300万人を超えるとも言われています。一方でその根本的治療法は未だ存在せず、新しい治療薬の開発が急務となっています。いつの日か、私の研究成果が一人でも多くのアルツハイマー病で苦しんでいる人々を助けることにつながればと考えています。

山口さんの研究内容はネオビブサニン誘導体の合成



薬品製造学研究室の皆さん

晴れやかに 1,084 人がキャンパスから巣立つ

2011年度 卒業式

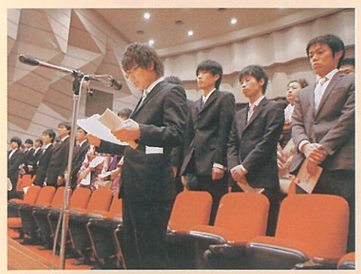
2011年度卒業式が3月15日(木)に徳島キャンパス総合体育館で、17日(土)に香川キャンパス村崎サイメモリアルホールでそれぞれ厳粛かつ盛大に執り行われ、1084人が希望と社会へ旅立つ決意を胸にキャンパスを巣立った。

卒業式では、華やかで厳粛な雰囲気の中、桐野学長が大学院・大学学部・短期大学部の代表者にそれぞれ学位記・修了証書・卒業証書を授与した。桐野学長が「社会に出て困難に出合ったときには、自分は世界でオンリーワンのかけがえのない人間であることを忘れないでください」と訴えれば、村崎理事長は、「卒業生の活躍が本学を照らし、本学の活躍が卒業生を照らす照らし合いを大事にしてほしい」と卒業生のますますの活躍を期待した。

卒業生を代表して、徳島キャンパスでは宮本千瑛（薬学部薬学科）さんが「人々との絆を心に抱きつつ、また本学で培った自立協同の精神を糧に、情熱を持ち自らの信じる道を歩んでまいります」と力強く決意を表し、また香川キャンパスでは中川尭亨（香川薬学部薬学科）さんは「徳島文理大学卒業生としての誇りを持ち、社会に大きく貢献できるよう活躍します」と答辞を述べた。

式終了後には、友人と記念撮影し、互いの門出を祝った。また在学生が花束や色紙を渡したり別れを惜しむ姿が見られた。

卒業生は徳島キャンパス・香川キャンパス合わせて1084人。内訳は大学院34人、専攻科8人、大学884人、短期大学部158人。



◆2011年度 受賞者一覧

優秀卒業論文・研究賞および優秀卒業演奏賞受賞者

◇薬学部
薬学科 上田 真穂
薬学科 高岸 照久
薬学科 渋谷 昌弘
薬学科 牧野 宏章

◇人間生活学部
児童学科 國谷 奈央
人間生活学科 藤崎亜那子
心理学科 安賀 早紀
メディアデザイン学科 砂川 江輝・冨山 拓朗・難波江由夏・森 貴彦

◇総合政策学部
総合政策学科 鈴木 大輝
総合政策学科 岸 辰哉

◇音楽学部
音楽学科管打楽器コース 高岡由紀子
音楽学科弦楽器コース 松﨑 由美
音楽学科電子楽器コース 福上 美樹
音楽学科声楽コース 岡村 由香

◇保健福祉学部
人間福祉学科 筒井 優香

◇工学部
電子情報工学科 近藤 力斗
機械創造工学科 三好 敏弘
ナノ物質工学科 浅川 真矢
臨床工学科 川村 英子

◇文学部
日本文学科 上田 愛
英語英米文化学科 塩谷 希望
文化財学科 卜部 大嗣

◇香川薬学部
薬学科 辻 香史
薬学科 鶴田 崇
薬学科 中川 尭亨
薬学科 中村 朋子

体育・文化功労賞受賞者

〔体育部関係〕

◇女子バレーボール部
人間生活学部児童学科 内田 有香
人間生活学部人間生活学科 今滝 美幸
人間生活学部食物栄養学科 竹田 早織

◇準硬式野球部
人間生活学部児童学科 田中 昇
人間生活学部食物栄養学科 日下 亮太
人間生活学部児童学科 橋爪 靖仁
人間生活学部食物栄養学科 佐藤 祐己
人間生活学部児童学科 延 駿平

◇弓道部
人間生活学部食物栄養学科 中島 千旭

◇柔道兼トレーニング部
工学部電子情報工学科 竹内 靖人
工学部電子情報工学科 近藤 力斗

〔文化部関係〕

◇徳島文理大学連（阿波踊り）
人間生活学部食物栄養学科 新谷 綾美
人間生活学部食物栄養学科 瀬川 恵美
保健福祉学部看護学科 宇佐美大輔
保健福祉学部看護学科 嵯峨根謙人
人間生活学部心理学科 小笠由加里

◇和太鼓 億
人間生活学部食物栄養学科 太田 遥歌
人間生活学部食物栄養学科 濵﨑 貴史
薬学部薬学科 岩村 亮
薬学部薬学科 鴻海 泉
薬学部薬学科 蔵本 女里
薬学部薬学科 宗岡 祐輔